

平成25年度授業シラバスの詳細内容

| | | | |
|---------------|---|-------|---------|
| 科目名(英) | ゼミナールⅣ (Seminar Ⅳ) | 授業コード | E002730 |
| 担当教員名 | 後藤 幹雄 | | |
| 配当学年 | 4 | 開講期 | 前期 |
| 必修・選択区分 | | 単位数 | 4 |
| 履修上の注意または履修条件 | 休まない、遅刻しないを心がけてください。 貴重な時間を大切にしましょう。 | | |
| 受講心得 | 必ず希望の企業の内定を勝ちとる、4年間の集大成として論文を発表する、という気構えで絶えず臨むこと。 | | |
| 教科書 | 特になし | | |
| 参考文献及び指定図書 | コミュニケーション力(斎藤孝著) 私の身体は頭がいい(内田樹著) サービスの教科書(窪山哲雄著) 「鳥の目・虫の目」発想読本(高橋宣行著) 世界一シンプルな戦略の本(長沢朋哉著) | | |
| 関連科目 | マーケティング論、広告論、eビジネス論、ブランド論、サービスマーケティング論 | | |

| | |
|--------------|--|
| 授業の目的 | <p>本ゼミはゼミナールⅢ修了者を原則対象とします。</p> <p>企業の様々なコミュニケーション活動をこれまでケーススタディー方式で学んできたが、4年次ではこれまでの総括を行い、企業組織の内外でのコミュニケーション活動について、それぞれの意味や役割を、自分の言葉で説明できるようにする。その上で、就職活動における自分自身の有力な武器にするとともに、4年間の総括としての卒業論文作成へとつなげる。</p> |
| 授業の概要 | <p>企業のコミュニケーション活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ○経営のコミュニケーション活動 <ul style="list-style-type: none"> ・コーポレートコミュニケーション～企業活動に関係する様々な人たち(ステークホルダー)に正しく企業活動を理解してもらうことの重要性とその方法について復習 ○企業組織のコミュニケーション活動 <ul style="list-style-type: none"> ・リーダーシップのあり方、組織内コミュニケーションのあり方など～復習 ○マーケティングコミュニケーション活動 <ul style="list-style-type: none"> ・ブランドコミュニケーション～目的と方法について復習 ・マーケティングコミュニケーション～目的と方法について復習 ・広告コミュニケーション～目的と方法について復習 <p>それぞれ具体的企業の事例に即して理解する。</p> |

| | |
|-------------|--------------------|
| 学修内容 | 学修課題(予習・復習) |
|-------------|--------------------|

| | | |
|--|----------------|------------------|
| 第1週： 企業のコミュニケーション活動の復習（就職活動支援） | | レポート、発表、ディスカッション |
| 第2週： 企業のコミュニケーション活動の復習（就職活動支援） | | レポート、発表、ディスカッション |
| 第3週： 企業のコミュニケーション活動の復習（就職活動支援） | | レポート、発表、ディスカッション |
| 第4週： 企業のコミュニケーション活動の復習（就職活動支援） | | レポート、発表、ディスカッション |
| 第5週： 企業のコミュニケーション活動の復習（就職活動支援） | | レポート、発表、ディスカッション |
| 第6週： 卒業論文作成指導（就職活動支援） | | 個別指導 |
| 第7週： 卒業論文作成指導（就職活動支援） | | 個別指導 |
| 第8週： 卒業論文作成指導（就職活動支援） | | 個別指導 |
| 第9週： 卒業論文作成指導（就職活動支援） | | 個別指導 |
| 第10週： 卒業論文作成指導（就職活動支援） | | 個別指導 |
| 第11週： 卒業論文作成指導（就職活動支援） | | 個別指導 |
| 第12週： 卒業論文作成指導（就職活動支援） | | 個別指導 |
| 第13週： 卒業論文作成指導（就職活動支援） | | 個別指導 |
| 第14週： 卒業論文作成指導（就職活動支援） | | 個別指導 |
| 第15週： 卒業論文作成指導（就職活動支援） | | 個別指導 |
| 第16週：期末試験 無し | | |
| 授業の運営方法 | (1)授業の形式 | 「演習等形式」 |
| | (2)複数担当の場合の方式 | |
| | (3)アクティブ・ラーニング | 「アクティブ・ラーニング科目」 |
| 備考 | | |

| | |
|-----------------------------|-------------|
| ○単位を修得するために達成すべき到達目標 | |
| 【関心・意欲・態度】 | 社会人になるための覚悟 |

| | |
|--------------------------|------------------------|
| 【知識・理解】 | 社会人として必須の知識体得 |
| 【技能・表現・コミュニケーション】 | ビジネスコミュニケーションの要点を説明できる |
| 【思考・判断・創造】 | 卒業論文の発表 |

| ○成績評価基準(合計100点) | | | 合計欄 | 100点 |
|--|-----------------|---------------|--------------|------|
| 到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点 | 期末試験・中間確認等(テスト) | レポート・作品等(提出物) | 発表・その他(無形成果) | |
| 【関心・意欲・態度】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。 | | 25点 | | |
| 【知識・理解】 ※「専門能力<知識の獲得>」を含む。 | | 25点 | | |
| 【技能・表現・コミュニケーション】 ※「専門能力<知識の活用>」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。 | | 25点 | | |
| 【思考・判断・創造】 ※「考え抜く力」を含む。 | | 25点 | | |
| (「人間力」について) ※以上の観点に、「こころの力」(自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力)と「職業能力」(職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力)を加えた能力が「人間力」です。 | | | | |

| ○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安 | |
|------------------------------------|-----------------|
| 成績評価方法 | 評価の実施方法と達成水準の目安 |
| レポート・作品等(提出物) | |
| 発表・その他(無形成果) | |